

教育・研究などへの取組状況

総合工学システム学科 都市環境コース 教授 武市 康裕

項目	取組状況
教育	<p>◆ 平成28年度担当科目</p> <p>建設材料(3C)、材料実験(3C)、RC工学(4C)、基礎研究(4C)、防災工学(5C)、資源リサイクル工学(5C)、環境デザイン実習(5C)、卒業研究(5C)、構造システム設計(専攻科2年)</p> <p>◆ 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <p>要約すれば、手厚い教育を心掛け、授業に取り組んでいるということである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設材料、RC工学については、教科書の補助教材を作成し、専門基礎として必要な学習を行った。 ・材料実験では、測定が1日では終了しない項目があり、また、使用する実験装置が重なることがあるため、さらに、その実験装置を操作できる者が限定されるので、授業日程だけでなく行事日程を考慮して、実験日程を作成した。 ・資源リサイクル工学では、テキストを作成し、資源リサイクルの概要および必要性、ならびに産業副産物や建設副産物のリサイクルについて教授した。 ・環境デザイン実習では、RC構造設計製図のテキストを作成して、社会に出てから必要な基礎的な知識を教授した。 ・構造システム設計では、建設材料やRC工学分野に関して、本科での学習内容を補完するために、土木技術者として必要な専門基礎知識を補完した。 <p>◆ 特記すべき教育方法の実践例</p> <p>要約すれば、「できなければ、できるようにする」という、授業に対する創意工夫とPDCAサイクルを考えた教育を常に実践し続けていることである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習問題等を作成し、学生の能力に応じた教育方法を実践した。 ・色々な課題を作成し、成績不振者に対して補充指導を実施した。 ・資源リサイクル工学では、一般廃棄物のリサイクルについては課題を与えることにより、学生による調査並びに資料作成、発表を実践した。